

# 令和8年度(2026年度) 北海道学校歯科保健優良校表彰調査票(第45回)【記入例】

都道府県名(指定都市名) <b>北海道</b>	フリガナ 学校名 <b>ホッカイドウシカガッコウ 北海道歯科学校</b>	学校所在地 〒001-0000 北海道札幌市歯の健口推進町1-1 電話 011-000-0000 FAX 011-000-0000			
小学校・中学校・高校 学級数 (内、特別支援教育学級数 在籍児童数または生徒数 <b>5学級 1学級 100名</b>	学校長名 <b>歯 太 郎</b>	在籍年数 <b>2年1ヵ月</b>	養護教諭名 <b>歯 花 子</b>	在籍年数 <b>3年1ヵ月</b>	
特別支援学校 学級数 小学部 学級 名 中学部 学級 名 高等部 学級 名 在籍教員数 名	保健主事名 <b>歯 花 子</b>	在籍年数 <b>3年1ヵ月</b>	学校歯科医名 <b>歯 健 子</b>	在籍年数 <b>10年1ヵ月</b>	
<b>1. 本校の学校保健の概要[令和7年度(2025年度)の概要について記入、令和8年度(2026年度)の学校保健計画ならびに学校安全計画を添付]</b>					
(1) 本校の教育目標 ◎仲間とともに つくりだす子ども ◎ねばり強く やりぬく子ども ◎じょうぶな体に きたえる子ども			(2) 学校保健の位置付け 心身ともに健康な児童を育成することは、学校教育の礎となるものであり、まさに学校保健がそれを担っている。本校では、学校保健目標を「自他の心身を考え、行動できる子どもの育成」とし、自らの健康のみではなく、他を思いやり、判断力を身に付け、より良い行動に移せる子どもの育成を目指すことにより、学校教育目標の具現化を図っている。		
(3) 本校の学校保健活動の全体の概要(令和7年度(2025年度)学校保健委員会開催: 回)					
保 健 教 育		保 健 管 理		組 織 活 動	
活動内容 ○歯・口の健康づくり学習(むし歯研究所) (3~6年 総合的な学習の時間 15時間) ○健康に関する保健指導(全学年 学級活動 1時間) ○歯と口に関する指導(全学年 学級活動 1時間) ○性の関する指導 (1~3年学級活動 2時間)(4~6年体育科保健領域 4時間) ○歯と口の関するポスターの作成(全学年 図工 6時間) ○保健学習に関連した教科の指導(生活科・理科・家庭科)		活動内容 ○各種健康診断の実施と事後措置 ○修学旅行、宿泊学習事前健康診査 ○健康調査、健康カードの健康調査による健康状態の把握 ○健康調べの通年実施(朝食・朝歯みがきの確認も含む) ○給食後の全校一斉歯みがき ○食物アレルギー調査の実施と面談 ○歯みがき大賞の表彰、歯みがきカレンダーの実施		活動内容 ○学校保健委員会 ・学校保健計画の検討、感染症流行の予防と対応 ○学年学級経営交流会 ○校内学びの支援交流会 ・教育的配慮を要する児童(障がい・健康面または生活習慣などを含む)に関する全教職員による情報の共有と必要な指導、対応などの検討	
成果と課題 保健教育を通じて、自分の体・命・健康について興味関心や理解を深め、自ら進んで健康的な生活を実践しようとする態度が少しずつ定着してきている。自分の健康は自分で把握し、問題解決できるよう指導の継続が必要である。		成果と課題 様々な健康検査・調査を通じて、児童の健康や生活状況の実態を把握することができ、個に応じたきめ細かい指導や対応、保護者への周知や啓発などを図ることができた。行動の変容を促す必要のある児童もいるため継続的な指導やよりわかりやすい資料の掲示が必要である。		成果と課題 小規模校のよさを生かし、児童一人ひとりの発達や健康、生活習慣における課題をすぐに全教職員で共有することができ、同一歩調で全校児童を温かく見守り、支え、指導する体制ができています。	
(4) 本校の現在までの学校保健関連の主な受賞歴					
<b>2. 本校の学校歯科保健の概要 [令和7年度(2025年度)の実績を記入]</b>					
(1) 本校の学校歯科保健の目標 歯と口の健康に関して、歯科健診、歯科指導、ブラッシング指導や日常の指導を通じて口腔内の健康について児童一人ひとりの意識を高めるとともに、進んで自らの健康の保持増進を努めようとする態度を育てる。					
(2) 本校の学校歯科保健全般の活動内容とその特徴と成果					
保 健 教 育		保 健 管 理		組 織 活 動	
活動内容 ・歯科指導と歯垢テストの実施 ・歯科衛生士によるブラッシング指導		活動内容 ・歯科健診後の事後措置 ・週1回のフッ化物洗口 ・給食後のブラッシング		活動内容 ・学校保健委員会での児童の歯に関する報告 ・健康委員会による歯みがきカレンダーの作成 ・健康委員会による歯についての発表	
特徴と成果 歯と口の健康に関しては長年取り組んでおり、歯に関する意識は児童も保護者も高い。そのおかげで毎年室蘭歯科医師会が主催している「よい歯の児童の表彰」では毎年多くの児童が表彰されている。		特徴と成果 給食後のブラッシングの実施などで、低学年からブラッシング指導を行なっているおかげで、正しいブラッシングの仕方は身につけているが、食後の歯みがきが身につけていない児童も何人かいる。		特徴と成果 児童会による歯みがきカレンダーの作成は児童も楽しんで行なっており、意欲付けにもなっている。また、保護者のコメント欄を設けることにより、休業中の様子を知ることができている。	
(3) 学級活動における 歯科保健指導の状況		(4) 学校行事における 歯科保健指導の状況		(5) 児童会(生徒会)での 歯科保健活動の状況	
1学年 (特別支援学校は 小学部)	・歯科衛生士による歯科指導(6歳臼歯を中心に歯みがきに方法を知る) L ・歯科衛生士によるブラッシング指導	・定期健康診断 郡市区歯科医師会よりリクライニングシートを借用し、健診を行なっている。	・歯みがきカレンダーの作成(夏休み・冬休み中) 児童会の健康委員が歯みがきカレンダーを作成している。毎年手書きで作成しており、児童の工夫が随所にみられる。保護者の方のコメントを書く欄を設けており、休み中の児童の様子を知ることができる。返す際には、養護教諭が一言感想を書いて返している。	・給食後のブラッシング	・給食後のブラッシング
2学年 (特別支援学校は 中学部)	・歯垢テストならびに学校歯科医による歯の話(6歳臼歯のみがき方を知る) L ・歯科衛生士によるブラッシング指導	・「よい歯の児童」の表彰	・健康委員会による、全校朝会での発表 歯の衛生週間に合わせて、歯みがきの大切さについて健康委員会全員で発表している。	・歯科衛生士によるブラッシング指導(2回)	・歯科衛生士によるブラッシング指導(2回)
3学年 (特別支援学校は 高等部)	・歯科衛生士による歯科指導(むし歯を予防するためのおやつを取り方を知る) L ・歯科衛生士によるブラッシング指導	・郡市区歯科医師会主催の歯と口の衛生週間と図画・ポスターコンクールへの作品出展		・フッ化物洗口(週1回)	・郡市区歯科医師会によるよい歯の児童の表彰とよい歯の児童の日常の取り組み作文掲示と保健だよりへの掲載
4学年	・歯垢テストならびに学校歯科医による歯の話(乳歯のむし歯が永久歯に及ぼす影響を知る) L ・歯科衛生士によるブラッシング指導			・学校保健委員会での掲示物作成	・学校保健委員会での掲示物作成
5学年	・歯科衛生士による歯科指導(だ液のはたらきと歯に及ぼす影響) L ・歯科衛生士によるブラッシング指導			・歯みがきの順番の掲示物作成	・歯みがきの順番の掲示物作成
6学年	・歯垢テストならびに学校歯科医による歯の話(歯周炎について) L ・歯科衛生士によるブラッシング指導			・学校歯科医による教職員向け歯科講習会の実施	・学校歯科医による教職員向け歯科講習会の実施
特別支援 学級	・所属学年と一緒に受ける				

**3. 歯科保健状況 [令和8年度(2026年度)定期歯科健康診断結果]**

※ 記入例を割愛させていただきました(提出される際には、記入のほどよろしくお願いたします)

(1) 学年別歯科保健の状況(「乳歯および永久歯」について記入)

項目	学年	1年生 (特別支援学校は 小学部)	2年生 (特別支援学校は 中学部)	3年生 (特別支援学校は 高等部)	4年生	5年生	6年生
ア 被検者数							
イ 未処置のむし歯のある者の数							
ウ 処置完了者数							
エ むし歯経験者数(イ+ウ)							
オ むし歯のない者の数(ア-エ)							
カ むし歯のない者の率(%) (オ÷ア×100)							
キ COを有する者の人数							
ク GOと判定された者の人数							
ケ Gと判定された者の人数							

(2) 現6年生の令和8年度(2026年度)ならびに令和7年度(2025年度)の永久歯むし歯等の状況

※中・高等学校においては、現2年生の令和8年度(2026年度)と、その生徒が1年生の時の令和7年度(2025年度)の永久歯のむし歯等の状況を記入してください。特別支援学校においては、記入不要です。

項目	被検者数 a	未処置のむし歯(C)数 b	処置歯(O)数 c	むし歯総数(DF) (b+c=d)	一人当たりDF歯数 (d÷a)	COを有する者の人数	GOと判定された者の人数	Gと判定された者の人数	歯列・咬合が「1」もしくは「2」と判定された者の合計人数	顎関節が「1」もしくは「2」と判定された者の合計人数
令和7年度(2025年度)										
令和8年度(2026年度)										

**4. 個別的な歯科保健活動の概要(令和7年度(2025年度)の概要を記入、該当者がいない場合は対応の方針を記入すること)**

(1) COを有する者やGOと判定された者への対応

養護教諭等による健康相談や個別指導等 CO・GOを有する者へは、昼食後の歯みがき時に、歯みがきのポイントを指導したり、染めだしの積極的な活用を図ったり、また、家庭での歯みがきの状況について把握し、改善が必要な場合は指導したりなどをして、継続的に支援している。	学校歯科医による健康相談や個別指導 秋の歯科健診時には、歯科衛生士が歯科健診結果に基づいて、COやGOがあるところは手鏡を使って児童に確認させ、日常のブラッシングでの注意点を指導している。歯科医は丁寧に健診を見取り、COやGOの場所・みがきにくい箇所を児童がわかるように説明を行うことで、児童も結果を理解し、意欲的に歯科保健活動に取り組む機会となっている。
--	---

(2) 歯列・咬合、顎関節、歯垢の付着状態や歯肉の状態が「1」もしくは「2」と判定された者やその他の歯疾患をもつ者への対応

養護教諭等による健康相談や個別指導等 2学期には給食時間中にかみかみセンサーを活用したかみんぐ30指導を行い、よく噛んで食べるよう指導している。歯垢の付着はCO・GOを有する者と合わせて上記の4.(1)のような個別指導を積極的に行なっている。保護者へは歯科医への相談を進めたり、経過観察をお願いしたりしている。	学校歯科医による健康相談や個別指導 歯科健診時に児童へ直接声をかけ、指導している。また、個別に検査結果への改善を助言したり、また、保護者への資料提供にも協力したりしている。
--	---

(3) 健康相談等の状況

養護教諭等による健康相談や個別指導等 日頃から児童との信頼関係を築くことを心がけ、心身に悩みごとがあるときには気軽に相談しやすい関係を心がけている。生活習慣の乱れを含めて、歯みがきが定着していない児童には生活状況の聞き取りや早寝早起きの習慣をつけ、規則正しく生活することが歯みがきの定着につながることを継続的に指導している。	学校歯科医による健康相談や個別指導 歯科健診や授業参観、学校行事への参加など、長期にわたって児童とのコミュニケーションがとれているため、学校歯科医が来校した時はいつでも自由に相談したりすることができる。
---	--

**5. 学校歯科保健の組織活動(家庭や地域との連携など)**

本校の取り組みが新聞で紹介され、多方面から反響があった。感想や喜びの電話はもちろん、市民団体の方から詳しく話が聞きたいとの連絡があった。学校歯科医の歯科医院では記事の切り抜きが掲示され、保護者からは「牛乳最後デー」の取り組みを載せた『保健だより』を勤務先の保育所で紹介してもらいたいとの問い合わせがあった。本校の取り組みが少しずつでも地域に広がるのは大歓迎である。

**6. 教員の学校歯科保健に関する研修への参加状況 有り( 回)・無**

校内研修のテーマと内容： フッ化物洗口ならびにブラッシングの指導法(染め出し)、講師：学校歯科医	校外研修のテーマと内容、参加者：校長・養護教諭 北海道学校歯科保健研究大会、歯・口の健康づくり推進指定校連絡協議会(子どもの喪失歯の講話を受けた)
---	--

**7. 学校歯科医の活動状況**

(1) 令和7年度(2025年度)の執務状況	(2) 特記すべき学校歯科医の活動
歯・口腔の健康診断	2回
健康相談・歯科保健指導	3回
学校保健委員会への出席	1回
学校行事への参加	1回
その他	0回

(2) 特記すべき学校歯科医の活動学校歯科医は、歯科知識を一方的に押しつけるのではなく、常に子どもたちの目線に立ち、どうしたら子どもたち自らが生き生きと学習活動に取り組むことができるかを念頭において、春・秋の歯科健診や個別のブラッシング指導、問題解決学習の助言に取り組んでいる。また、子どもたちや教師とよりよい人間関係が築かれていることや学校保健活動への積極的な参画もあり、より子どもたちが主体的に活動できるような確かなアドバイスをしている。歯と口の健康づくりとして行なっている「むし歯研究所」の学習の中で、実際に歯科医院を見学させたり、学習の成果を児童が発表する「和・歯・8020ワールド」へは毎年参加するとともに、取り組みにおける成果についても講評している。

**8. 本校の学校歯科保健活動で特記すべき事項 ※ 記入例を割愛させていただきました(提出される際には、記入のほどよろしくお願いたします)**